

日本海総合研究プロジェクト国際シンポジウム

主催：富山大学人文学部

共催：総合地球環境学研究所内山プロジェクト

日時：平成22年1月23日（土）13:00 ～ 24日（日）13:00

世界の言語景観 ・ 日本の言語景観

1月23日（土） 13:00～18:30

1部：言語景観にみる地域性

景観形成の地域性とプロセス

内山純蔵（総合地球環境学研究所准教授）

世界の少数言語の言語景観に見られるアイデンティティの主張

ダニエル・ロング（首都大学東京准教授）

中国（黒龍江省）における文字景観

張守祥（中国・佳木斯（ジャムス）大学教授）

日本海を渡った日本語の言語景観－韓国各都市における現状－

磯野英治（韓国・中央大学校助教授）

移住の言語景観（外地：サハリン・北海道に焦点をあてて）

朝日祥之（人間文化研究機構国立国語研究所准教授）

「泉都」別府の言語景観－「路地裏散歩」の現場から－

日高水穂（秋田大学准教授）

都の言語景観（京都市中心部のちょうちんに注目して）

松丸真大（滋賀大学准教授）

都市特性と言語景観（大阪駅前と京都駅前の比較から）

大西拓一郎（人間文化研究機構国立国語研究所教授）

言語景観から見えてくる「地方」

中井精一（富山大学准教授）

1月24日（日） 9:00～10:40

2部：景観を言語から読み解く

言語景観から読み解く日本の多言語化：東京を事例に

ペート・バックスハウス（ドイツ日本研究所研究員）

言語景観を分析し、可視化するには

高田智和（人間文化研究機構国立国語研究所准教授）

社会分析のツールとしての景観研究

高岡弘幸（高知女子大学准教授）

指定討論者：岸江信介（徳島大学教授）

高木千恵（関西大学准教授）

西尾純二（大阪府立大学准教授）

1月24日（日） 11:00～13:00

3部：総合討論

司会：中井精一（富山大学准教授）

場所：富山大学人文学部6番教室

富山大学人文学部日本文学研究室 二村文人

富山大学人文学部ドイツ言語文化研究室 黒田廉

富山大学人文学部日本語学研究室 中井精一

富山大学人文学部ドイツ言語文化研究室 阿部美規

連絡先：930-8555 富山市五福3190

Tel・Fax：076-445-6204

E-mail：nakai@hmt.u-toyama.ac.jp